

看護アセスメント学研究室

～いつも心に“WHY?”と“BETTER!”を～

科学的根拠に基づいた看護(EBN: Evidence Based Nursing)の実践のために、疾患と症状を捉え、患者さんのニーズを正確に判断できる看護職を目指して育成しています。

教育



○看護疾病病態論（1年次）

：主な疾患についての知識を深め、症状やメカニズムについての理解を深めます。

○ヘルスアセスメント（2年次）

：解剖学や病態を理解した上で、五感を駆使し、看護に必要な身体・心理・社会的な情報収集する方法をシミュレーター等を用いて学びます。



社会 貢献

大分県の看護の発展に貢献できるよう
努力しています

○現職看護師を対象とした、フィジカル
アセスメント研修を実施しています。

○在宅ケア研修用DVDを制作し、県内の
訪問看護ステーションに配布しました。



研究

○卒業年次の看護学生による胸部レントゲン
画像の解釈の現状
～眼球運動測定装置を用いて～

○看護過程におけるアセスメントの思考過程の
困難さに関する研究
～卒業年次の看護学生に焦点を当てて～

○呼吸音・心音におけるシミュレーターを用いた
学習効果の検討～分散学習の頻度の比較～
等々



公立大学法人 大分県立看護科学大学

Oita University of Nursing and Health Sciences